

# 伊那から学ぶ東ティモール

元駐在大使・北原さん オンライン講演



オンラインで北原さんから東ティモールに関する講演を聞く参加者

伊那市高遠町出身で日本東ティモール協会（東京都）会長の北原巖男さん（73）による「東ティモール特別展記念オ

ンライン講演会」が19日、市立伊那図書館であった。同館が国際協力機構（JICA）の協力で開催している特別展の一環で、市が東京五輪・パラリンピックのホストタウンに登録されている縁で同館が企画。オンラインで東京の北原さんと結び、市内外の約40人が東ティモールの歴史や現状について学んだ。

2002年にインドネシアから独立した東ティモールは、岩手県と同じくらいの面積に約120万人が暮らす。同国との交流は、北原さんが08年から3年間、駐在

大使を務めた縁で続いている。

北原さんは「平均年齢が18歳で、合計特殊出生率は4・09に上る」と日本と比較しながら説明。日本の国会では女性議員の比率が約15%に対し、同国では約40%を占め、女性の社会進出が進んでいると紹介した。最後に、「お互いに手を携え、支え合う関係を築きたい」と述べた。

国際支援に関する特別展は8月末までで、伝統的な織物「タイス」やJICA隊員の活動紹介のパネルなどを展示している。